

令和2年度 石川県教育委員会優良公民館表彰を受賞して

「SNS社会と共存しながら文学を通して地域間交流を図る」

野々市市富奥公民館

1. 市・地区の概要

○市の概要

野々市市人口

53,592人

(令和3年3月末日現在)

昭和30年から32年にかけて一町三村が合併し新しい野々市町が誕生

平成23年11月11日 野々市市に

市制施行

位置 北部から東部は金沢市に

接する

西部から南部は白山市に

接する

範囲は東西4.5キロ

南北6.7キロ

面積 13・56平方メートル

高齢化率 19・74%

(令和2年度住民基本台帳より)

学校 小学校

5校

中学校

2校

高等学校

1校

○地区の概要

市には本町地区、押野地区、郷

地区、富奥地区の4地区があり、富奥地区は20の町内会がある。

野々市市の南部に位置している富奥地区は山側環状線の開通

に伴って交通量だけではなく住宅、商業地として近年著しく発展して

おり、マンション、アパートが多く

建ち並ぶ街の環境は、野々市市が令和2年度に住みやすさ日本一となった要因になっていると思われる。

特別支援学校

1校

大学

3校

2. 公民館の概要

名称 野々市市富奥公民館

所在地 野々市市中林5丁目3番地22

建物構造

①竣 工 平成26年11月

②敷地面積 4,607.97㎡

③建築面積 1,025.56㎡

④建物構造

鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造 2階建

職員 館長1名(非常勤)

主事1名(非常勤)

富奥防災コミュニティセンター

として災害時は地域の防災拠点、平常時は富奥公民館として地域の

コミュニティ拠点として地域住民に活用されている。

広場に隣接した東側はガラス張り、日差しが差し込む開放的な

感じを受ける造りになっている。公民館としては毎月2、3回の

事業を開催し、毎年約130人が参加するグラウンドゴルフ大会や

約2,000人が参加する運動会を運営している。

また富奥村当時から続いている虫送り大会に事業協力している。



3. 特色ある公民館活動

富奥地区住民は野々市市の人口の約4割にあたる19,893人(R3/3/31現在)で、その内65歳以上は約2割の4,258人である。公民館では市立図書館からの蔵書(2600冊ほど)が貸出しできるようにになっており、コンスタントに図書を借りるのは高齢者が多く見られる。

蔵書の中から、文字は大きいが重いハードカバーを借りていく高齢者が多かった為、本を読まなくても朗読で聴いて貰ってはと思いつき、職員の知人である朗読小屋を主宰する鏡花劇場の女優に朗読会を依頼した。朗読する作品は県の三文豪や金沢に所縁のある作家のものを希望した。初回は五木寛之の「浅野川暮色」、2回目は泉鏡花の「婦系図」、短編では半村良や唯川恵の作品というようなジャンルに囚われず誰もが受け入れやすい物を選んだ。

公民館サークルの活動を知って貰う良い機会でもある為、煎茶サークルの会員に協力してもらい、朗読が始まる前に会場のある2階のフリースペースにて、季節の景色を楽しめる待合のお茶席を設けることにした。



劇団関係者に依頼していた会場設営は、令和2年度から音響、照明、会場設営まで全て公民館の執行委員で行うことになり、素人も関わらず、例年と遜色ないもの

となった。会場内は照明を落とし雪洞の灯りで演者にだけスポットライトを当てた独特の空間になり、参加者はひと時ではあるが文学の世界に浸ることが出来る。



協力者として、公民館の執行委員だけではなく他県から来ている近くの県立大学の学生にも声を掛け、地域の住民(特に高齢者)との交流を促している。



県立大学の学生に、社会に出てからのコミュニケーション能力を養って欲しいと構成されたポケットゼミ「TOMITTO (TOMI OKU TO TOMONI)」の学生には公民館事業として、小学生対象の夏休み教室の補助や公民館合同のトリプルソフトバレーボール大会にも、チームを組んで地域住民として参加してもらっている。

その他にも県立大学と生活学校や市民活動団体と毎年8月にコラボレーションしてイベントを開催している。

これらの事業の連絡や事業の様子を報告するツールとして、LINEや市のFacebook等SNS (ソーシャル ネットワーク サービス システム) を使用している。会議の通知や事業の協力依頼等をこれまではハガキや電話等を使用していたが、協力者の中には20代〜50代が多く、LINEグループを作って参加の有無や人数が一度に分かりたいという要望があった。これまで事業内容は市の

HPから外部リンクへ移行しないと閲覧できない公民館ブログで掲載していたが、市民以外にも事業の内容を知って貰う為に昨年から市FBで掲載している。これ以外にも野々市市では連絡ツールアプリとして、電子回覧板となる「結ネット」を使用している町内会も多くなってきた。

公民館だより等の回覧でしか見られないものを掲載したり、運動会の中止連絡や事業のお知らせ等の情報発信ツールになり、災害時には安否確認システムとしても活用できるアプリである。

残念ながら富奥地区はまだ活用している町内会が全体の半数にも及ばないが、今後は公民館からも活用するよう呼びかけていきたい。

4. 活動の成果と今後の課題

文芸講座も回数を重ねる毎に一度参加した人が近所の方を誘ったり、夫婦で参加したり、待合の茶席では町内会を超えた交流が見られる事も多くなってきた。「数年ぶりで会社の同僚だった人に会

えた」若いころに民生委員をやっていた時の先輩が居た」等の嬉しい報告があった。

文芸講座には待合でただお茶を飲むのではなく、町内会を超えた交流と、朗読で文学に触れる時間を持つという2つの役割がある。

交流も、異なる町内会だけではなく高齢者と学生、地元住民と転入者というような様々な形で行っていく事も考えている。

これまでは一年に一度の開催だったがまずはシーズン毎に一回開催出来るようにしたい。

今後は「参加はしたいが運転できない」「歩くのも困難だ」という方の為に自宅近くまで市の社会福祉バスで送迎をし、より多くの方が文学を通しての地域間交流が出来ればと思っている。

スマートフォンの普及に合わせてSNSという大変便利なツールも大いに活用していきたいが、SNSだけで頻繁にやりとりしていると、長い間会っていなくても身近に感じられる錯覚に陥ってしまう事がある。高齢者だけではなく

様々な年代層にも直に会って会話を交わし、顔色や声の強弱、体形や動作の変化に気づける対面での定期的な公民館事業も継続して行っていくかなくてはならない。

【5】メニュー画面の説明

・「メニュー」タブを押すと、町内会のメニュー画面が表示されます。



ジャンルボタン

⇒ 各町内会の活動をジャンル別にボタンで表示します。

各ジャンルは、下記2種類です。

・「記事発表形式」… 町内会役員が各町民に情報を発信する形式

・「掲示板形式」… 町内会全員が自由に発信し、コメントも発信できる形式

※各ジャンルの形式は運用開始時に町内会別で定義されます。